

黒部市公共交通戦略推進協議会

平成22年2月25日設置



概要

黒部市の公共交通は、鉄道が3路線、21の旅客駅があるが、各路線の結節は十分でなく、また、路線バスも十分なサービスが提供されていない。今後は、都市機能としての円滑な公共交通ネットワークの確保が重要であり、既存ストックの再生・活性化、公共交通空白区域への対応、新幹線と既存鉄道網との結節などが必要である。平成26年度の新幹線開業に向けて、鉄道、バス、タクシー等の連携により効率的・効果的に公共交通ネットワークを構築するため、市民の公共交通に対するニーズ把握を行い、既存交通の活性化、新たな公共交通の導入等の施策を検討するものである。

○地域公共交通の現況

- ・JR北陸本線(黒部駅、生地駅)
- ・富山地方鉄道本線(電鉄石田駅～宇奈月駅)
- ・黒部峡谷鉄道(宇奈月駅～櫻平駅)
- ・富山地方鉄道バス(路線数:3系統)
- ・公営バス(路線数:2系統)

○地域公共交通の課題

- ・各公共交通機関の接続、連携等の向上が必要
- ・公共交通の利用者を増加させ採算性を改善させることが必要
- ・公共交通を利用できない地域での交通手段の確保が必要

○調査の主な内容

- ・現況交通OD調査
- ・テスト運行による利用意向把握調査
- ・鉄道ネットワーク構築検討調査
- ・割引運賃制度検討調査

○地域公共交通総合連携計画の構想(予定)

- ・既存路線バスの活性化検討
- ・コミュニティ交通の導入検討
- ・デマンド型交通の導入検討
- ・電車・バス運賃バリアフリー化検討
- ・北陸新幹線新黒部駅(仮称)を中心とした鉄道結節検討



富山地方鉄道本線



富山地方鉄道バス

